

Press release

Tokyo, February 23, 2026

MAHLE、独自の D&I 推進に成功

- MAHLE はエンゲージメント&ビロッキング施策を通じてダイバーシティ & インクルージョン (D&I) を推進
- 2025 年、日本に D&I 推進室を設立
- 社内 D&I 強化プロセスを整備
- D&I 認知度が 6 か月で 34% から 71% に向上 (社内調査)
- JobRainbow 主催「D&I AWARD 2025 個人賞」を受賞

MAHLE (マーレ) は、モビリティ業界における D&I 推進の先進企業の一つとして世界的に評価されています。同社は、エンゲージメント&ビロッキング施策を通じ、多様な人材が活躍できるインクルーシブ (包摂的) な環境づくりを強化し、この 1 年で日本において大きな成果を上げました。2025 年には日本に D&I 推進室を設立し、サーベイ (社内アンケート調査)、東アジア地域のトップマネジメントなど多様なリーダーによる対話、インタビューを実施しました。日本、そして自動車産業特有の文化に合わせて設計されたこれらの取り組みにより、社内の D&I 認知度はわずか 6 か月で 34% から 71% へと大幅に向上しました。こうした取り組みは外部からも評価され、JobRainbow 主催の「D&I AWARD 2025 個人賞」を受賞しています。

「MAHLE の技術は、世界のモビリティを支えるために、多様な形で進化し続けています。それを可能としてきたのは、“従業員が持つ個性”です。多様な価値観や経験、バックグラウンドを持つ一人ひとりが力を発揮できる職場環境こそが、イノベーションを生み出し、MAHLE の成長を支える原動力となっています」と、マーレジャパン株式会社 代表取締役社長 兼 マーレグループ東アジア最高責任者 木下 靖博は述べています。

MAHLE の D&I ミッションは、全従業員にとって居心地の良い職場環境をつくることです。従業員それぞれの独自の視点や経験、アイデアは、イノベーションとパフォーマンスに必要不可欠です。同社は、従業員が能力と創造性を最大限に発揮できる環境を整備し、D&I を通じた人材育成・採用の強化を目指しています。

MAHLE グローバルの D&I 先進事例を踏まえ、日本では独自の目標、重点領域、KPI を設定しました。専任の D&I 推進室の立ち上げによりすでに大きな進展が見られ、今後は日本特有の文化や慣習を踏まえて各拠点・各部門に合わせた戦略をさらに推進し、意識向上を強化します。「国際女性デー」だけでなく「国際男性デー」の認知向上といった、社内啓発活動も注力しています。

4 つの主要施策の実施

国内の全 MAHLE 拠点を対象に実施した D&I に関するサーベイでは、「D&I」という言葉の認知率がわずか 6 か月で 34% から 71% に上昇しました。東アジア地域のトップマネジメントを含む多様なリーダーによる D&I Dialogue とインタビューでは、経営層の関与を高め、従業員がメッセージを通じて D&I の重要性を再認識する機会となりました。D&I をテーマとした多様な社内プログラムは、トップマネジメントから従業員に向けて、D&I の観点から「より良い職場づくり」について直接話す機会を提供し、また経営層にとっても従業員の声に耳を傾ける場ともなりました。さらに、D&I Leadership Conference Japan は、性別を問わずすべての従業員の参加を促しました。参加者が自動車業界の他社で活躍する経験豊富な管理職の方々と交流し、ネットワークを広げることを後押しすることで、業界の未来を形作る D&I 推進につながりました。

D&I AWARD 2025 個人賞

エバンジェリスト賞は、日本最大級の D&I 表彰プログラムである JobRainbow 主催「D&I AWARD 2025 個人賞」における主要な賞の一つと位置づけられています。本賞は、D&I の価値観を広く伝え、共感を育み、組織変革を推進する個人を称えるものです。「D&I 推進には、組織それぞれの文化や強みを活かした“その企業らしさ”が大切だと考えています。MAHLE らしい活動をさらに発展させ、従業員一人ひとりが安心して力を発揮できる環境づくりを今後も継続して取り組んでまいります」と、マーレグループ東アジア Learning, Employer Branding, D&I スペシャリストの田中美乃梨は述べています。

報道関係者の皆さまへ：本プレスリリースと関連画像は「MAHLE Newsroom」
(<https://newsroom.mahle.com/press/en/>) でご覧いただけます。

画像の著作権：MAHLE GmbH



D&I AWARD 2025 個人賞を受賞したマーレグループ東アジア Learning, Employer Branding, D&I スペシャリストの田中美乃梨



マーレジャパン株式会社 代表取締役社長 兼 マーレグループ東アジア最高責任者木下靖博、サーマル & フルードシステムズ 東アジア最高責任者 Joachim Baczewski とのダイアログ (対話)



マーレジャパン株式会社代表取締役社長 兼 マーレグループ東アジア最高責任者 木下靖博との“At Lunch with...” featuring D&I(D&I 推進室共催のランチ会)

About MAHLE (本社：ドイツ／日本支社：東京都豊島区)

MAHLE (マーレ) は、今日のグローバルな自動車業界において、乗用車と商用車両分野の開発パートナーおよびサプライヤーです。1920年に設立されたマーレグループは、電動化と熱管理の戦略的分野に焦点を当て、将来の「Climate Neutral」なモビリティの実現に取り組んでいます。また、燃料電池や水素などの再生可能な燃料で稼働するクリーンな燃焼エンジンなど、炭素排出量をさらに高効率に削減するための技術にも焦点を当てています。

現在、世界中の2台に1台がマーレのコンポーネントを搭載しています。マーレは世界中約68,000名の従業員を135の生産拠点や11のテクノロジーセンターに配置し、28か国に拠点を置いています。また、2024年には約117億ユーロの売上を計上しました。

日本においてマーレは、幅広い専門知識を活用しながら今日まで50年以上事業を継続して参りました。またアジア太平洋地域の本社機能を担うことで、日系大手自動車メーカーの国内外すべてのビジネスをサポートしています。現在、日本のマーレグループは国内17拠点に約2,600名の従業員を擁しています。

マーレジャパン公式サイト：<https://www.jp.mahle.com/ja/>

#weshapefuturemobility